



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社 True Data 上場取引所 東
コード番号 4416 URL http://www.truedata.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米倉 裕之
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 大上 琢治 TEL 03-6430-0721
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	767	△2.3	38	-	38	-	6	-
2024年3月期中間期	785	10.7	△19	-	△20	-	△22	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	1.30	1.30
2024年3月期中間期	△4.65	-

(注) 前中間期において、潜在株式調整後1株あたり中間純利益については潜在株式が存在するものの、1株あたり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	1,324	1,054	79.6
2024年3月期	1,362	1,047	76.9

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 1,054百万円 2024年3月期 1,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,791	12.4	100	56.4	98	57.6	87	46.5	18.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	4,778,400株	2024年3月期	4,778,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	一株	2024年3月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	4,778,400株	2024年3月期中間期	4,726,203株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、円安の影響等による物価高により実質所得が伸び悩み足踏み状態ながらも、各種政策の効果もあって雇用・所得環境が改善する中で緩やかな景気の回復がみられました。一方で、欧米における高い金利水準の継続、それに伴う日本との金利差による円安基調、中国における不動産市場停滞の継続や個人消費の不振、ウクライナ問題の長期化や中東情勢のさらなる緊迫など海外の政治・経済の諸課題による影響も大きく、景気の先行きに対する不透明感は継続しました。

当社は、全国に広がるドラッグストアやスーパーマーケット等の小売店における消費者購買ビッグデータを、小売企業や消費財メーカーがマーケティングに活用するためのソリューションの提供を主力事業としております。当社の事業領域はビッグデータを用いた社会構造変革や企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)というメガトレンドの追い風を受け、中長期的な成長が見込まれております。当社においてもこのような追い風を受けつつ、小売企業や消費財メーカーの顧客企業の開拓・深耕が進み、成長トレンドが継続しております。

当中間会計期間においては、消費財メーカー向け主力サービスである「イーグルアイ」「ドルフィンアイ」の販売拡大に注力するとともに、小売業向けサービスである「ショッピングスキャン」に関して、提携先も含めた販売体制を強化し新規取引先開拓のための取組みを進めました。これらの主力サービスは、クラウド上のサービス提供に対して月次課金型の使用料を受け取るビジネスモデルであり、ベースとなるストック型の安定的な収益を確保できるものです。前期に受注した取引先へのサービス導入を実施し、新たな取引先の受注を複数社獲得したことに加え、大手小売業等からAIを含む大型案件の受注を獲得しましたが、大型案件はサービス導入までに一定期間を要することから、売上への貢献は今期第4四半期以降から開始となる見通しです。

また、このように安定的な収益につながる売上が積み上げる一方で、並行して原価率の高い案件の見直しを推進しました。この取り組みにより、当中間会計期間において売上高は減収となったものの、利益は大幅に増加しました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高767,306千円(前年同期比2.3%減)、営業利益は38,948千円(前年同期は営業損失19,733千円)、経常利益は38,372千円(前年同期は経常損失20,370千円)、中間純利益は6,225千円(前年同期は中間純損失22,022千円)となりました。

なお、当社は、データマーケティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産・負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ38,188千円減少し1,324,383千円となりました。流動資産は、主に現金及び預金が増加した一方、売上代金の回収により売掛金が減少し、1,106,653千円と前事業年度末に比べ45,616千円減少しました。固定資産は、ソフトウェアの減価償却が進んだものの、ソフトウェア開発により無形固定資産が増加したため、217,259千円と前事業年度末に比べ8,841千円増加しました。繰延資産は、株式交付費の償却が進み、471千円と前事業年度末に比べ1,413千円減少しました。

(負債の部)

当中間会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ44,414千円減少し270,171千円となりました。流動負債は、主に契約負債、買掛金等の減少により、266,368千円と前事業年度末に比べ38,951千円減少しました。固定負債は、「オンプレミスからクラウドへの構造転換」の推進による新基幹システム開発に要した長期借入金の返済が進み、3,802千円と前事業年度末に比べ5,462千円減少しました。

(純資産の部)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ6,225千円増加し1,054,212千円となりました。これは中間純利益の計上により利益剰余金が6,225千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は944,059千円と、前事業年度末に比べ6,529千円増加いたしました。当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況及び変動要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動により獲得した資金は88,541千円(前年同期は36,804千円の獲得)となりました。これは主に、税引前中間純利益12,037千円、減価償却費19,389千円、売上債権の減少額36,930千円、契約負債の減少額26,623千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動により使用した資金は64,301千円(前年同期は20,123千円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出55,742千円及び有形固定資産の取得による支出8,163千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動により使用した資金は17,710千円(前年同期は12,230千円の支出)となりました。これは、長期借入金の返済17,710千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、概ね期初計画通りに進捗しており、2024年5月15日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	937,529	944,059
売掛金	159,227	122,297
前払費用	47,210	37,097
その他	8,302	3,199
流動資産合計	1,152,269	1,106,653
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	7,448	6,720
工具、器具及び備品(純額)	13,396	18,876
建設仮勘定	1,361	799
有形固定資産合計	22,206	26,396
無形固定資産		
ソフトウェア	49,546	59,587
ソフトウェア仮勘定	33,668	54,926
その他	343	343
無形固定資産合計	83,558	114,858
投資その他の資産		
投資有価証券	33,820	7,485
出資金	25,000	25,000
繰延税金資産	29,382	28,742
その他	14,449	14,777
投資その他の資産合計	102,652	76,004
固定資産合計	208,418	217,259
繰延資産		
株式交付費	1,885	471
繰延資産合計	1,885	471
資産合計	1,362,572	1,324,383

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,146	49,737
1年内返済予定の長期借入金	29,800	17,570
未払金	17,391	8,135
未払費用	19,594	14,633
未払法人税等	7,085	13,155
未払消費税等	14,774	14,626
契約負債	115,635	89,011
賞与引当金	17,708	23,320
その他	27,184	36,179
流動負債合計	305,320	266,368
固定負債		
長期借入金	5,480	-
資産除去債務	3,784	3,802
固定負債合計	9,264	3,802
負債合計	314,585	270,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,360,679	1,360,679
資本剰余金		
資本準備金	200,169	200,169
資本剰余金合計	200,169	200,169
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△512,860	△506,635
利益剰余金合計	△512,860	△506,635
株主資本合計	1,047,987	1,054,212
純資産合計	1,047,987	1,054,212
負債純資産合計	1,362,572	1,324,383

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	785,532	767,306
売上原価	347,249	326,593
売上総利益	438,282	440,712
販売費及び一般管理費	458,016	401,764
営業利益又は営業損失(△)	△19,733	38,948
営業外収益		
受取利息	4	88
為替差益	0	-
雑収入	874	797
営業外収益合計	879	885
営業外費用		
支払利息	102	47
為替差損	-	0
株式交付費償却	1,413	1,413
営業外費用合計	1,516	1,462
経常利益又は経常損失(△)	△20,370	38,372
特別損失		
投資有価証券評価損	-	26,335
特別損失合計	-	26,335
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△20,370	12,037
法人税、住民税及び事業税	1,633	5,171
法人税等調整額	18	640
法人税等合計	1,651	5,812
中間純利益又は中間純損失(△)	△22,022	6,225

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△20,370	12,037
減価償却費	40,480	19,389
株式交付費償却	1,413	1,413
賞与引当金の増減額(△は減少)	400	5,612
受取利息及び受取配当金	△4	△88
支払利息	102	47
為替差損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	2,620	36,930
前払費用の増減額(△は増加)	6,672	10,045
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,926	△6,409
未払金の増減額(△は減少)	3,988	△374
未払費用の増減額(△は減少)	8,980	△4,961
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,705	△148
契約負債の増減額(△は減少)	4,436	△26,623
その他	4,587	38,815
小計	45,676	85,687
利息及び配当金の受取額	4	88
利息の支払額	△102	△47
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8,773	2,813
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,804	88,541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,388	△8,163
無形固定資産の取得による支出	△13,735	△55,742
敷金の差入による支出	—	△395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,123	△64,301
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△12,650	△17,710
株式の発行による収入	420	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,230	△17,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,451	6,529
現金及び現金同等物の期首残高	879,046	937,529
現金及び現金同等物の中間期末残高	883,497	944,059

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、データマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。